



文部科学省選定



やめよう! ネットでウリと悪口



●小学校高学年向け

●時間：27分



・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

私たちは普段、「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」といった挨拶を会話でしています。しかし、インターネットの世界では、会話が文字に置き換えられます。パソコンの向こう側の相手には、声の大きさや、顔の表情を伝える事ができません。

この作品では、みなさんがインターネットを使うときに、他人に迷惑をかけたり、お互いに不愉快な気持ちにならないように、上手に利用するにはどうしたらいいのかを紹介しています。第一話は、掲示板の書き込みが原因で、けんか別れをしてしまった、仲良しのリカちゃんとアカネちゃんの話です。第二話は、自分のホームページに軽い気持ちで書いた小さなうそから、大変な思いをした泰介君の話です。

この二つの話を通して、自分だったらどんな行動をするかを考えてみてください。そして、インターネットの使い方の基本を学んで、マナーを守って楽しい交流を心がけて下さい。

第一話「リカとアカネ」

小学校5年生のリカとアカネは1年生の時から親友でした。二人とも低学年から、自宅のパソコンで遊んでいたのが、今ではパソコンを使いこなしています。時々、インターネットを利用して、共通の趣味「読書」について掲示板に書き込みをしています。書き込みをする時、リカは〈リンゴ〉アカネは〈アイスクリーム〉というニックネームを使っていました。ある日、リカはインターネットで人気のあるホームページを見ていました。友達紹介のコー



ナーが面白く、小学生の間では評判になっています。色々な書き込みを読んでいたリカは、自分も書き込みがしたくなりました。そこで、アカネの事をニックネームを使って書き込みました。内容をちょっとだけ面白くして…

しばらくするとアカネは、同級生からからかわれるようになりました。「お前、性格が悪いんだって」「アカネって意地悪なんだって」アカネの悪いうわさが広がっていました。それはリカの書き込みが原因でした。そして、その書き込みを見たアカネは…

第二話「泰介のウソ」

泰介は小学校6年生。クラスの仲間でホームページを立ち上げています。泰介は日記を担当する事になりました。けれども、面白いアイデアが浮かばず、悩んでいます。そんな時、親戚のおばさんから手紙が届きました。泰介が遊びに行った時に写したフェレットの写真も一緒に入っていました。それを見た泰介は名案を思いつきました。「僕の家でかわいいフェレットを飼い始めました。名前は（まるちゃん）。これから飼育日記をお届けします。」泰介は、ウソの飼育日記を自分達のホームページに打ち込みました。



泰介の飼育日記は大評判になりました。すると友達がフェレットに会いたいと言い出しました。これには泰介も大慌て、飼育日記は書いていますが、本当はフェレットを飼っていないのですから。まるちゃんの人気に困った泰介は、夜も眠れず考えます。そしてまた、名案を思いつきます。「僕のまるちゃんが逃亡してしまいました…とても残念です。」軽い気持ちで泰介がついたウソ。この後どうなるのでしょうか？

いろいろな人達と気軽に交流できるインターネットは楽しいものです。でも、その気軽さが原因でトラブルも起きています。掲示板やチャットなどに書き込むときには、相手を傷つけないように、言葉を選ぶように心がけましょう。乱暴な言葉や人の悪口、人をだましたりするような文章を書いてはいけません。

最も大切な事は、いつも相手の気持ちを考えて発言をしたり、行動しなくてはならないという事です。コンピュータの向こうには私たちと同じ生身の人間がいると言う事を忘れないで下さい。

インターネットを使うときの注意点

- *ユーザーID、パスワードをきちんと管理しよう。
- *自分の情報は自分でしっかり守ろう。
- *チャットや掲示板を使うときは、ことばづかいに気をつけよう。
- *チェーンメールはまよわず捨てよう。
- *ルールを守ってホームページを作ろう。
- *写真などを勝手にコピーしちゃだめだよ。

みんな
守ってね



協力：週刊少年サンデー（小学館）
撮影：長野県大野市立東小学校

